

平成28年度 学校自己評価表

( 計画段階・実施段階 )

福岡県立小倉西高等学校長 印

学校番号

13

学校運営計画 (4月)				総合評価 (3月)		
学校運営方針		1 「生きる力」の育成に向けて、県教育委員会が示す「鍛ほめ福岡メソッド」を指導方法の基本として、学力・体力・精神力の面で、困難な課題に挑戦させ、自らの力で解決に挑ませ、努力の過程をほめる指導を実践する。 2 授業力の向上、家庭学習時間の増加と充実に向けて組織的に取り組み、「確かな学力」を養う。 3 将来を見通した進路目標の設定に向けて、進路情報を積極的に提供し、具体的進路目標を設定させる。 4 明るく元気で、自他を大切に、規範意識の高い、心身ともに健全な生徒を育成する。				
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標			
【成果】学習と部活動の両立を図る生徒が増えている。全体的に学習時間の増加及び学力の向上が見られるとともに、部活動については加入率が増加し、試合成績は向上している。  【課題】進路実績の向上をさらに目指し、学校運営方針及び年度重点目標の達成に向けて職員が共通認識を確立する。今後、全職員が方針及び目標を意識して教育活動を実行することが必要がある。		「確かな学力」の養成	公開授業週間及び授業アンケートを有効に活用して授業力の向上に努めるとともに、家庭学習時間増加と充実に向けて具体的な対策を講じる。 大学入試の改革の流れを踏まえて、教員のアクティブ・ラーニングの実践力を高め、生徒の高い思考力・判断力・表現力を養う。			
		キャリア教育の充実	総学の時間を活用した「キャリア教育」を通して職業観を育成し、自らのキャリア(将来像)を具体的に考えさせる。 より高い進路目標を設定させ、それを実現しようとする意欲を高める。			
		「豊かな人間性」及び「体力」の育成	基本的生活習慣の確立及び挨拶等のマナーの指導を徹底するとともに、人権教育の徹底により「いじめ撲滅」を実現する。 学校行事及び部活動を充実させ、課題や困難を乗り越える力、柔軟に物事に対応する力を育成する。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
教務	学力の伸長及び充実	学習時間調査を継続実施し、生徒に必要な家庭学習時間を確保することにより、確かな学力の育成を推進する。 学習の記録の活用及び面談週間を活用し、成績不振者の一層の減少を図る。 生徒の自覚及び教師の意識を高めることにより、出席率を向上させ、皆勤者を増やす。	B	B	・ 学習時間調査や面談週間は計画通り実施できたが、真の学力向上に十分繋がらなかった。次年度は学習時間調査の方法を改善し、生徒の自主的な学習を推進する。併せて学習面で特に支援を要する生徒への有効な方策も検討する。 ・ 出席皆勤率は年々向上し、過去5年間で最高であったが、来年度も更なる向上を目指す。一方、3年生の12月以降の出席率低下を防ぐ取組みも強化する。 ・ 成績処理システムは完成できたが、今後も継続して安定運用及び改善に取り組む。また、成績処理、チャイム及びその他の業務において課内の共通理解を促進し、より効率的な業務遂行に繋げる。 ・ 今年度から選書委員会を設置し、学期に1回会議をおこなった。図書の選書に多様なニーズが反映されていることが確認でき、今後の購入計画の見直しができる。来年度も引き続き実施したい。	
	迅速で正確な諸業務の処理及び効率的な組織体制の推進	成績処理システムのさらなる整備及び指導要録等、諸表簿の迅速で正確な処理を推進する。 成績処理や時報など基本的な技能やスキルの共有を課内外で進めるとともに、業務実績の記録を定着させる。 課会等を通じて諸業務における創意工夫を図り、効率化を推進する。	A			A
	図書教育の推進	刊行物を通して図書に関する情報提供に努め、生徒が読書をおとして考察力が向上できるように図る。 教科や学年と連携して選書を行うことにより、多種多様な蔵書を充実させる。 図書館オリエンテーションで3年間の読書活動の動機付けを行い、多様化する進路や入試に対応できるようにする。	A			A
生徒指導	規範意識の向上	学年主任との合同会議を適宜実施し、情報共有を図り、問題行動の未然防止につなげる。 生徒会との定期的な会議を行い、生徒自らが問題提起できる体制を作る。 ボランティア活動を更に充実させ、積極的参加を奨励する。 自転車通学者への安全指導を定期的に行い、マナーアップや事故の未然防止につなげる。	B	A		
	生徒会の活性化	各種委員会活動の充実と生徒会研修会の実施により、意識の向上を図る。 行事等を通して、生徒会が中心となって学校を動かす体制をつくる。	A			A
	教育相談をはじめとする生徒支援の充実	教育相談を実施し、スクールカウンセラー(SC)、訪問相談員、担任、保護者間の連携を図り、支援体制を充実させる。 ソーシャルスキルトレーニング(1、2年生対象)、メンタルヘルス講習会(3年生対象)を実施し、生徒のより良い人間関係づくりに努め、ストレスをうまく解消できるヒントを与える機会とする。必要に応じて1、2年生にもメンタルヘルス講習会を実施する。 職員研修会を通して、指導上配慮を要する生徒についての情報を共有し、より良い支援につなげる。	A	A		
	環境美化の徹底	美化コンクールを実施し、清掃指導を充実させ、校内外の環境美化に努める。 自主的にゴミを拾ったり、備品や公共物を大切にしたりする態度を養い、生徒の公共心を養う。	B		B	
	保健委員会、整美委員会の活性化	各委員会での広報、啓発活動、研究発表などを推進し、活動を充実させる。	B	B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題
進路指導	現在のキャリア教育を堅持し、新しい内容の検討推進	本校独自のキャリア教育の推進を図るとともに、より多面的な視点に立った内容を検討する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育推進と総学検討委員会の取組みが合致し、継続的な成果を挙げているので、次年度も更なる充実を図る。</li> <li>・北九大、九歯大との連携は生徒の進路目標達成に良い影響を与えた。次年度も効果的な連携を深めていきたい。</li> <li>・保護者向けの進路説明会は、保護者の聞きたい内容や知りたい情報等を事前に把握し、的確な情報の発信を行う。</li> <li>・北九大の推薦全員合格は、生徒と指導する教員に大きな自信を与えた。しかし、安易な推薦希望者の増加には一定の歯止めが必要であり、教員の共通認識が求められる。</li> <li>・4, 5月の放課後課外については生徒の状況を把握した上で効果的な実施を行いたい。</li> <li>・生徒の情報セキュリティへの関心を更に深める。</li> </ul>
		新しい形の高大連携を導入し、自らの将来像をより具体的に考えさせ、その実現に向けての取組を進める。	A		
		進路説明会や各講演会等を通して自らの課題を見つけ、それを解決していこうとする行動力を身に付けさせる。	B		
	自らの進路実現に向け、困難に立ち向かう強い意志を持った生徒集団の育成	安易な進路選択をすることなく、より高い目標を掲げさせ、その実現に向けてきめ細かな指導を行う。	A	A	
		効果的な受験指導を目指すことを目標に、更なる課外授業、対外模試の有効活用を行う。	A		
		進路検討会や進路研究会を充実させ、職員間の進路情報の共有化を図り効果的な進路指導を目指す。	B		
積極的、効果的な進路情報の提供及び校務における情報機器活用の推進	教員及び生徒による進路指導室の積極的利用を促進し、様々な進路情報を適切に把握できる環境を整える。	B	B		
	教務関係の重要情報のセキュリティを強化するとともに、校務における効果的な情報機器活用を推進する。	B			
研修	授業力・指導力の向上	2回の公開授業週間を利用し、研究授業・協議会を充実させ、授業力・指導力を高める。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に向けて、校内では公開授業週間や授業アンケートの実施、校外のものではアクティブ・ラーニングの研究授業や研修会、講演会の案内をした。先生方が研修会等に積極的に参加したり、授業改善への前向きな取組を行い改善が進んだ。来年度も研修会等の内容を吟味しながら、積極的に継続していきたい。</li> </ul>
		授業アンケートの内容を充実させ、入力方法、集約結果の提示の工夫をし、授業改善に活かす。	B		
		有意義な校内研修を実施するとともに、校外研修の情報を提供し積極的な参加を勧める。	A		
	人権教育の推進及びいじめ撲滅	人権教育を推進するとともに、学校いじめ防止基本方針を職員へ周知し、いじめ撲滅に努める。	A	A	
総務・広報	行事の円滑な実施	関係各部との連絡調整を密に行い、前年度の反省を活かした具体性のある実施計画を作成する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の計画は、前年度の反省を見直し改善に努めることができたが、細かな確認の必要性を感じた。</li> <li>・学校案内は、前年度から大幅な変更に取り組み、他校にないものをつくることができた。部活成績の横断幕等も、効果的な広報活動につながった。</li> <li>・会議室・講義室の整備はできたので、効果的な利用の推進が必要である。</li> </ul>
		行事ごとに職員への連絡・調整を密に行っていく。	B		
	開かれた学校づくりを視野に入れた広報活動の推進	中学生やその保護者の興味を高める学校案内を作成する。	A	A	
	学校施設・設備の効果的利用の推進	各分掌・教科間の調整を行い、学校施設・設備の効果的な利用を実現する。	A	A	
第1学年	基本的生活習慣の確立	学年集会や登校指導等を通して、挨拶の励行と時間厳守の徹底、規範意識の育成を図る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年集会を適宜実施することで、学年全体で課題と目標を明確化し、見直しをもって学校生活に取り組ませた。挨拶の励行と時間厳守については概ね図ることができた。今後はさらにリーダーを育成し、自治意識の涵養が求められる。</li> <li>・毎日「学習の記録」を確認し、家庭学習は定着してきた。</li> <li>・2分前着席完了を徹底し、落ち着いた学習環境をつくる。</li> <li>・夢ナビや女性活躍推進プログラムなど意欲的に参加する生徒が多い。今後も進路情報の提供を随時行う。</li> <li>・進路説明会の工夫(保護者の進路意識の変革のために)</li> </ul>
		部活動への入部を推奨し、互いに支えあい、困難を乗り越え、成し遂げる力を身につけさせる。	A		
	学習習慣の定着	授業規律、予習復習を徹底させ、授業を大切に作る姿勢を定着させる。	B	A	
		「学習の記録」の記入を徹底させ、記録内容を活用した指導により、家庭学習の定着と充実を図る。	A		
	進路意識の高揚	進路講演会やオープンキャンパス、夢ナビ、デジタルサービス等を利用し、進路について視野を広げ、より高い目標を持たせる。	A	A	
類型選択を自らの将来像に対応して確実に行わせ、その方向に向けた取組と努力を実行させる。		B			
第2学年	基本的生活習慣の確立と挨拶等のマナーの向上	修学旅行を生活指導の集大成と位置づけ、基本的生活習慣を確立させる。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習時間の確保と、内容の充実を図る。</li> <li>・進路目標を明確に設定させ、その実現に向けた意欲と学力を養成する。</li> <li>・授業と課外授業において、安易に遅刻や欠席しないように指導し、出席状況の改善をめざす。</li> <li>・選挙権を有する社会人として、適切に正しく判断し責任ある行動が取れ、周囲に配慮して行動する生徒を育成する。</li> <li>・毎日を充実感をもって送ることができる自己コントロールができる生徒を育成する。</li> </ul>
		日常の挨拶等マナーの向上と、周囲に配慮した態度、言動がとれるよう指導する。	B		
	進路目標の設定と、進路実現に向けての意欲の高揚	授業、課外授業を積極的に集中して受講させ、かつ、家庭学習の充実を図らせる。	B	B	
		進路情報収集させて具体的な進路目標を設定させ、意欲を持って学習に取り組ませる。	B		
	課題や困難を乗り越え、柔軟に物事に対応する力の育成	学校行事の中心的役割を担う中で、リーダーを育成し、かつ、生徒一人一人が主体的行動できるよう指導する。	A	A	
修学旅行を成功させ、充実した高校生活を送る力を身に付けさせるとともに、最上級生になるという自覚を持たせる。		A			
第3学年	希望進路の実現	学年集会やHRを活用して進路情報を提供し、早期に具体的な進路目標を決定させる。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導に関しては1年次から計画的・段階的に目標を設定する必要がある。</li> <li>・個人面談・保護者説明会を通して定期的に進路説明会を行なう必要がある。</li> <li>・挨拶や時間厳守等、基本的生活習慣は入学時から継続的に行なう必要がある。</li> </ul>
		進路説明会や面談を通して個々の希望や学力に応じた進路指導を行う。	B		
	社会に貢献できる人材の育成	社会人として通用する資質を養い、責任ある行動が取れるよう指導する。	A	A	
		学校行事を通じてリーダーを育成し、主体的に考え行動できるよう指導する。	B		
事務室	財務会計事務の条例・規則に則った執行 学校運営方針に沿った予算の有効活用 財産の有効活用を行う財産管理 校舎老朽化に伴う営繕修理の遂行	条例・規則の改正に適切に対応する。特に、就学支援金等新たな制度に対応する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の改修工事施工に伴い、学校行事をしっかりと把握し工程会議において連絡調整を的確に行うことで、安全確保に努める。</li> <li>・また、校舎老朽化に伴う安全管理について、環境整備班と協力して校内巡視を行い、不良箇所の早期発見に努める。</li> </ul>
		教員とコミュニケーションを密にし、学校運営方針に沿って予算を効率的に活用する。	A		
		施設管理については、コンスタントに学校内の巡視を行い、不良箇所の早期発見と対応を行う。また、環境整備班と連携して校内の環境整備に取り組む。また、適切な財産管理を行う。	B		